

五智如来とは、これらの「智」をそれぞれ如来に当てはめたもので、大日如来の他、阿閼如来、宝生如来、観自在王如来（阿弥陀如来）、不空成就如来として表されます。

2) 湯屋方丈

（本坊方丈）【重要文化財】

1623年（元和9年）、徳川秀忠によって再建された建物で、西通用門と共に重要文化財に指定されています。



本坊は四天王寺の寺務所で、方丈は住職の居室にあたり、徳川家康の側近としても知られる天海大僧正(てんかいだいそうじょう)が、四天王寺執務の時に、在住したと伝えられています。

3) 本坊庭園

本坊の庭園は、座視式の前庭「補陀落の庭」と、その奥の池泉回遊式庭園「極楽浄土の庭」から成ります。

現存する庭園は、江戸時代初期に造園された後、火災により焼失し、明治時代初期に復興されたものです。

特に極楽浄土の庭



は有名で、自然のわき水を利用した2つの小川「水の河」と「火の河」、そして2つの池「瑠璃光の池」と「極楽の池」を配し、白砂の回遊路を備えています。

本坊庭園には、登録有形文化財のあずまや「八角亭」や、松下幸之助によって寄進された「和松庵」を始めとする4棟の茶屋などがあります。

池泉回遊式庭園とは：

中央に池を配し、周囲に回遊路を設け、歩きながら景色を楽しめる造園方法の庭です。

江戸時代に発達した日本庭園の様式です。池とその周囲を巡る園路を中心に作庭するもので、桂離宮・金沢兼六園・六義園などがあります。